

萩原なつ子教授の業績リスト

List of Works by Professor Natsuko Hagiwara

単 著

- 萩原なつ子 (1990).『それ行け！ YABO——こどもとエコロジー』リサイクル文化社.
- 萩原なつ子 (1992).『ひろしま女性大学通信課程 環境をみつめよう——女性とエコロジー』広島県女性会議.
- 萩原なつ子 (2009).『市民力による知の創造と発展——身近な環境に関する市民研究の持続的展開』東信堂.

編 著

- 萩原なつ子 (編著) (2016).『としま F1 会議——「消滅可能性都市」270 日の挑戦』生産性出版.

共 著

- 萩原なつ子 (1987).「エコロジー」原ひろ子・田中和子・館かおる・須田道子 (編著)『読む事典・女の世界史』(15-16 頁).新曜社.
- 萩原なつ子 (1987).「^{いのち}生命の値段」原ひろ子・田中和子・館かおる・須田道子 (編著)『読む事典・女の世界史』(12 頁).新曜社.
- 萩原なつ子 (1987).「家事使用人」原ひろ子・田中和子・館かおる・須田道子 (編著)『読む事典・女の世界史』(31 頁).新曜社.
- 萩原なつ子 (1987).「主婦論争」原ひろ子・田中和子・館かおる・須田道子 (編著)『読む事典・女の世界史』(84-85 頁).新曜社.
- 萩原なつ子 (1992).「ソーシャル・エコロジー」市川定夫・石田和夫・伊藤重行・佐藤敬三・永田靖 (監修)『環境百科——危機のエンサイクロペディア』(169 頁).駿河台出版社.
- 萩原なつ子 (1994).「観光開発と女性——マレーシア・ペナン島における事例調査から」原ひろ子・大沢真理・丸山真人・山本泰 (編著)『ライブラリ 相関社会科学2 ジェンダー』(396-404 頁).新世社.
- 萩原なつ子 (1996).「後始末を考える暮らし——水・ゴミから見る環境問題——」藤原千賀・萩原なつ子・重川純子・三善勝代・木脇奈智子・工藤由貴子 (著)『生活経営論』(37-49 頁).同文書院.
- 萩原なつ子 (1996).「地球環境の保全と代替エネルギー」亀田光昭 (編著)萩原なつ子・西山隆造・掛本道子・近雅博・檜垣宮都・古沢広祐・他 (著)『生活環境論』(114-132 頁).同文書院.
- 萩原なつ子 (1996).「変わりゆく暮らしと環境問題」藤原千賀・萩原なつ子・重川純子・三善勝代・木脇奈智子・工藤由貴子 (著)『生活経営論』(19-36 頁).同文書院.
- 萩原なつ子 (1996).「消費の裏側に見える世界」亀田光昭 (編著)萩原なつ子・西山隆造・掛本道子・近雅博・檜垣宮都・古沢広祐・他 (著)『生活環境論』(16-34 頁).同文書院.
- 藤堂麻里子・戸田清・萩原なつ子 (1996).「訳者あとがき」マレイ・ブクチン (著)『エコロジーと社会』(288-295 頁).白水社.

萩原なつ子教授の業績リスト

- 萩原なつ子 (1997).「アリス・ウォーカーとジェンダー 『カラーパープル』 から『喜びの秘密へ』」
林浩平 (編著)『女性文学の現在』(131-145 頁). 東横学園女子短期大学女性文化研究所.
- 萩原なつ子 (1997).「エコロジカル・フェミニズム」江原由美子・金井淑子 (編著)『ワードマップ フェミニズム』(292-317 頁). 新曜社.
- 萩原なつ子 (1999).「当たり前だと思っていた意識を変えていくのがジェンダー教育なんです」ワークショップ・ミュー (編)『「まなび」の時代へ 地球市民への学び・30人の現場』(193-200 頁). 小学館.
- 萩原なつ子 (1999).「持続可能な社会への市民の取り組み」清野きみ・原ひろ子 (編著)『生活と地球社会 愛と地球のために……』(135-144 頁). 放送大学教育振興会.
- 萩原なつ子 (1999).「持続可能な社会と身近な環境問題」清野きみ・原ひろ子 (編著)『生活と地球社会 愛と地球のために……』(123-134 頁). 放送大学教育振興会.
- 萩原なつ子 (1999).「女性の市民活動の歩み」中村陽一・日本NPOセンター (編)『日本のNPO2000』(191-200 頁). 日本評論社.
- 萩原なつ子 (2001).「ジェンダーの視点で捉える環境問題——エコフェミニズムの立場から」長谷川公一 (編著)『環境運動と政策のダイナミズム』(35-64 頁). 有斐閣.
- 萩原なつ子 (2001).「生活の経営とボランティア活動／NGO・NPO 活動」原ひろ子 (編著)『生活の経営——21世紀の人間の営み』(119-127 頁). 放送大学教育振興会.
- 萩原なつ子 (2001).「生活の経営と地域社会」原ひろ子 (編著)『生活の経営——21世紀の人間の営み』(108-118 頁). 放送大学教育振興会.
- 萩原なつ子 (2002).「エコロジカル・フェミニズム」井上輝子・上野千鶴子・江原由美子・大沢真理・加納実紀代 (編著)『岩波 女性学事典』(73-74 頁). 岩波書店.
- 萩原なつ子 (2002).「環境とジェンダー——『自然との共存』」田中由美子・大沢真里・伊藤るり (編著)『開発とジェンダー エンパワーメントの国際協力』(206-215 頁). 国際協力出版会.
- 萩原なつ子 (2002).「キャロリン・マーチャント『ラディカルエコロジー』」江原由美子・金井淑子 (編著)『フェミニズムの名著 50』(414-423 頁). 東京印書館.
- 萩原なつ子 (2002).「マリア・ミース／ヴァンダナ・シヴァ『エコフェミニズム』」江原由美子・金井淑子 (編著)『フェミニズムの名著 50』(424-432 頁). 東京印書館.
- 萩原なつ子 (2003).「エコフェミニズム」奥田暁子・秋山洋子・支倉寿子 (編著)『概説フェミニズム思想史』(271-286 頁). ミネルヴァ書房.
- 萩原なつ子 (2003).「フェミニズムからみた環境問題——リプロダクティブ・ヘルスの視点から」桜井厚・好井裕明 (編著)『差別と環境問題の社会学 シリーズ環境社会学 6』(117-138 頁). 新曜社.
- 萩原なつ子 (2005).「開発は女性を解放したか」田中雅一・中谷文美 (編著)『ジェンダーで学ぶ文化人類学』(254-268 頁). 世界思想社.
- 萩原なつ子 (2005).「『環境とジェンダー』の交錯——自然と人間の共生をめざして——」原ひろ子 (監修)「原ゼミの会」編集委員会 (編)『ジェンダー研究が拓く地平』(317-334 頁). 文化書房博文社.
- 萩原なつ子 (2009).「NPO ことはじめ」高校生のための社会学 編集委員会・水上徹男・是永諭・砂川浩慶・福永真弓・本田量久 (編著)『高校生のための社会学 未知なる日常への冒険』(96-105 頁). ハーベスト社.
- 萩原なつ子 (2015).「環境と女性／ジェンダーの主流化」亀山康子・森晶寿 (編著)『グローバル社会は持続可能か』(97-118 頁). 岩波書店.
- 萩原なつ子 (2018).「ジェンダーの環境思想」環境経済・政策学会 (編)『環境経済・政策学事典』(662-663 頁). 丸善出版.
- 萩原なつ子 (2019).「ジェンダー平等を実現しよう」阿部治・野田恵 (編著)『知る・わかる・伝

- えるSDGs I 貧困・食料・健康・ジェンダー・水と衛生』(93-111頁).学文社.
- 萩原なつ子(2019).「女性の社会的排除と男女平等参画」日本リスク研究学会(編)『リスク学事典』(526-529頁).丸善出版.

論文等

- 萩原なつ子(1989).「バーモント州のリサイクル事情見聞記」『リサイクル文化』第25号(1989 AUTUMN-WINTER),124-129頁.リサイクル文化社.
- 萩原なつ子(1990).「エコロジーとフェミニズムの結びつきについて」『社会運動』第124巻(1990年7月号),16-19頁.
- 萩原なつ子(1990).「女性の社会参加の動向とこれから」『公衆衛生』第54巻第4号,249-253頁.
- 萩原なつ子(1992).「『健康な地球のための世界女性会議』に参加して」『婦人教育情報』第25号(1992年3月号)37-42頁.国立女性教育会館.
- 萩原なつ子(1992).「共同購入と消費生活」『国民生活センター』(4月号).
- 萩原なつ子(1995).「エコミュージアムへのいざない」『BIOCITY』第4号.
- 萩原なつ子(1995).「発言席 キーワードはエンパワーメント——第4回世界女性会議 NGO フォーラムに参加して」『保健婦雑誌』第51巻第12号(1995年12月号),929頁.
- 萩原なつ子(1995).「キーワードは男女のパートナーシップ——第4回世界女性会議 NGO フォーラムに参加して」『BIOCITY』第6号.
- 萩原なつ子(1996).「ジェンダーの視点から地域・生活を考える⑨ 環境問題におけるジェンダー [1] エコロジーと女性」『保健婦雑誌』第52巻第9号(1996年9月号),735-738頁.
- 萩原なつ子(1996).「ジェンダーの視点から地域・生活を考える⑩ 環境問題におけるジェンダー [2] 環境と女性 ふたつの顔」『保健婦雑誌』第52巻第10号(1996年10月号),830-833頁.
- 萩原なつ子(1996).「住民参加型小規模生産プロジェクトとジェンダー——コスタリカ,アレナル環境保全地域の事例調査から——」『女性文化研究所紀要』第5号,35-51頁.東横学園女子短期大学.
- 萩原なつ子(1996).「共同購入運動と女性」国際交流基金・国際交流相談室(編)『女性交流事業～女性・環境・平和 報告書』(44-45頁).国際交流基金.
- 萩原なつ子(1996).「消費者問題研究講座 環境負荷の少ない消費生活～消費者・企業・行政の役割を考える」『月刊キャパシティ』第24巻第12号,8-12頁.株式会社ゼネラル企画.
- 萩原なつ子(1998).「エレン・リチャーズ・スワローへの旅——その1——」『女性文化研究所紀要』第7号,113-123頁.東横学園女子短期大学.
- 萩原なつ子(1998).「“環境のみつめかた”、市民の環境研究への参加とエンパワーメント——民間財団の助成プログラムの事例から——」『環境社会学研究』第4号,24-43頁.
- 萩原なつ子(監修)・大木茂男(編)(1998).『フランス エコロジー ガイド』環境生活文化機構.
- 萩原なつ子(1999).「シリーズ新しい暮らし方『くいしんぼうのエコロジー』」『グリーンコンシューマー東京』第3号,2-3頁.グリーンコンシューマー東京ネット.
- 萩原なつ子(2000).「持続可能な社会とジェンダー」『環境情報科学』第29巻3号,24-25頁.
- 萩原なつ子(2001).「循環型社会の実現を目指して——市民活動の視点から」『月刊国民生活』第31巻第1号,14-17頁.国民生活センター.
- 萩原なつ子(2001).「“身近な環境”に関する市民活動と〈市民知〉の形成」『環境情報科学』第30巻第3号,34-38頁.環境情報科学センター.
- 萩原なつ子(2003).「環境とジェンダー 第1回」『Asian Breeze』No.38.(財)アジア女性交流研究フォーラム.
- 萩原なつ子(2003).「環境とジェンダー 第2回」『Asian Breeze』No.39.(財)アジア女性交流研

究フォーラム.

萩原なつ子 (2004).「環境とジェンダー 第3回」『Asian Breeze』No.40, 4-5頁. (財) アジア女性交流研究フォーラム.

萩原なつ子 (2004).「環境運動と女性」『ウィル』No.11. (財) あいち女性総合センター.

萩原なつ子 (2004).「社会的合意形成が拓く公共事業新時代 (9) 地方行政と市民・NPOの参加と協働」『土木施行』第45巻第1号, 78-85頁.

萩原なつ子 (2004).「市民主体の景観・建物保存再生の試み」『市街地再開発』No.411 (7月号). 全国市街地再開発協会.

萩原なつ子 (2005).「地方行政と市民・NPOの参加と協働——キーワードは『理解』と『忍耐』」(特非) 合意形成マネジメント協会 (編) 『社会合意形成が拓く公共事業新時代』(56-63頁). (特非) 合意形成マネジメント協会.

萩原なつ子 (2005).「男女共同参画とNPOを語る」『宮城県 みやぎ政策の風』vol.3 (2005年3月), 124-130頁.

萩原なつ子 (2006).「環境問題・開発問題における女性の不可視化と周辺化——沖縄県石垣市新石垣空港建設問題の事例から——」『国際ジェンダー学会誌』第4号, 33-56頁.

萩原なつ子 (2006).「環境と女性/ジェンダーの交差」『東京都市大学環境情報学部紀要』第6号, 104-112頁.

萩原なつ子 (2006).「古典再読 マレイ・ブクテン『エコロジーと社会』」『中央公論』第121巻第6号 (2006年6月号), 301頁.

萩原なつ子 (2007).「環境・開発とジェンダー」『立教大学ジェンダーフォーラム年報』第8号, 101-105頁.

萩原なつ子 (2007).「NPOと行政との協働に関する研究——委託事業の実態と事業評価に関する事例調査——」『平成16年度~18年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書』(1-56頁).

萩原なつ子 (2010).「持続可能な社会・地域づくりにおける社会関係資本とNPO」『環境情報科学』第39巻第1号, 4-9頁. 環境情報科学センター.

萩原なつ子 (2011).「東日本大震災から考えるリプロダクティブ・ヘルスとリスクセンス」『化学物質と環境』第107号, 14-16頁. エコケミストリー研究会.

萩原なつ子 (2012).「口紅に込めたレジリエンス: 男女共同参画の視点からみた復興」『BIOCITY』50号 (2012年3月27日), 26-28頁.

萩原なつ子 (2013).「地域と人を育むネットワークとネットワーク再考」『平成25年度地域づくり活動事例集——地域づくりを担う人々の発掘と育成』地域活性化センター.

萩原なつ子 (2015).「生き物にやさしい道のゆくえ」『生活と環境』第707号, 53頁. 日本環境衛生センター.

萩原なつ子 (2015).「助産テラス: 妊娠・出産・育児への想いを発信 メーブルシロップ尿症の孫から学んだこと, 考えたこと」『助産雑誌』第69巻第5号, 398-402頁.

萩原なつ子 (2016).「女性と描く復興とこれからの地域社会」『BIOCITY』第67号, 8-11頁.

萩原なつ子 (2016).「環境とジェンダーの主流化の変遷 ストックホルム会議からSDGsへ」『NWEC実践研究』第6号, 52-70頁. 国立女性教育会館.

萩原なつ子 (2017).「働き方改革における行政の役割——WLBを加速化するための取組み事例から」『クリエイティブ房総』第94号, 8-12頁. 千葉県自治研修センター.

萩原なつ子 (2019).「消滅可能性都市から持続発展都市へ 東京都豊島区『としまF1会議』の挑戦 (1)」『自治会町内会情報誌 まち・むら』146号, 33-35頁. あしたの日本を創る協会.

萩原なつ子 (2019).「消滅可能性都市から持続発展都市へ 東京都豊島区『としまF1会議』の挑戦 (2)」『自治会町内会情報誌 まち・むら』147号, 33-35頁. あしたの日本を創る協会.

- 萩原なつ子 (2019).「消滅可能性都市から持続発展都市へ 東京都豊島区『としま F1 会議』の挑戦 (3)」『自治会町内会情報誌 まち・むら』148 号, 33-35 頁. あしたの日本を創る協会.
- 萩原なつ子 (2020).「家事・育児は誰の役割なのか」『JOURNAL』vol.65, 4-5 頁. 久留米市男女平等推進センター.
- 萩原なつ子 (2020).「身近な生活から考える なるほど! The SDGs『世界や地域の課題を読み解く装置』:『令和元年度 生活学校リーダー研修』から」『まち・むら:自治会町内会情報誌』第 150 号, 48-51 頁. あしたの日本を創る協会.
- 萩原なつ子 (2020).「難民女性とリプロダクティブ・ヘルス」『保健の科学』第 62 巻第 10 号, 699-703 頁.
- 萩原なつ子 (2020).「新・羅針盤 女性の視点に基づいたまちづくり——『としま F1 会議』の挑戦」『ネットワーク』Vol.181, 4-5 頁. マッセ OSAKA (おおさか市町村職員研修研究センター).
- 萩原なつ子 (2020).「消滅可能性都市から持続発展都市へ 東京都豊島区『としま F1 会議』の挑戦 (最終回・4)」『自治会町内会情報誌 まち・むら』149 号, 33-35 頁. あしたの日本を創る協会.
- 萩原なつ子 (2020).「With コロナ時代の働き方」『JOURNAL』vol.66, 4-5 頁. 久留米市男女平等推進センター.
- 萩原なつ子 (2021.4.25).「ウィズ/ポストコロナ時代の働き方 『複業』スタイルの勧め」『日本農業新聞』, 10 頁.

訳書

- ブクチン, M. (1996).『エコロジーと社会』(藤堂麻里子・戸田清・萩原なつ子・訳). 白水社. [原著: Bookchin, M. (1990). *Remaking society: Pathways to a green future*. Boston: South End Press].

連載

- 萩原なつ子 (継続中).「環境を見つめる人々」『エルコレーター』(第 1~69 回). 環境生活文化機構.

座談会・対談等

- 柘湯俊子・萩原なつ子・村上千里 (1995).「BIO-City 座談会『女性・環境・平和』——欧州 4 か国草の根交流報告——」『BIO-City』第 5 号 (1995 年夏号), 17-25 頁.
- 奥田暁子・近藤和子・竹見智恵子・萩原なつ子 (1998).「エコフェミニズムを習う」『現代思想』第 26 巻第 6 号 (1998 年 5 月号), 112-140 頁.
- 若原泰之・萩原なつ子 (2000).「インタビュー社会貢献活動の新たな一歩——21 世紀の新しい国づくりを視野に入れた NPO 支援を」『Keidanren』第 48 巻第 5 号, 30-32 頁.
- 桑子敏雄・金森修・萩原なつ子・他 (2001).「『感性哲学』創刊記念座談会 なぜ、今、感性哲学なのか?」『感性哲学』1, 5-22 頁. 東信堂.
- 小野紀之・酒井正・萩原なつ子・他 (2003).「市民・青山環境会議 環境活動を通じて社会の仕組みを変えていこう」『環境会議』第 20 号, 92-100 頁. 宣伝会議.
- 白木渡・萩原なつ子・吉村伸一・他 (2003).「座談会 河川における住民と行政のパートナーシップ——行政に何を望むか」『河川』第 59 巻第 12 号, 3-14 頁. 日本河川協会.
- 萩原なつ子・杉本育生 (2004).「対談 環境・生活・市民活動」『家計経済研究』第 63 号, 2-10 頁.
- 山崎亮・萩原なつ子 (2015.10.15).「人口減少下におけるコミュニティ再生に『我々』はどう向き合うか」『生産性新聞』, 4-5 頁. 日本生産性本部.

萩原なつ子教授の業績リスト

萩原なつ子・山田泰久・小倉希世子・金子育容・宮島元 (2018).「座談会：今、あらためて問う NPO の役割」『三田評論 ONLINE』. 2021 年 11 月 19 日 <https://www.mita-hyoron.keio.ac.jp/features/2018/11-1.html> より情報取得.

2022 年 1 月
作成・森田系太郎